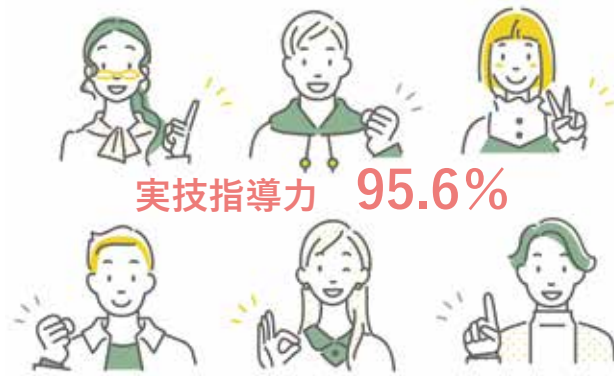


卒業時まで身に付けた力と満足度は …

専門的な知識・教養 95.0%



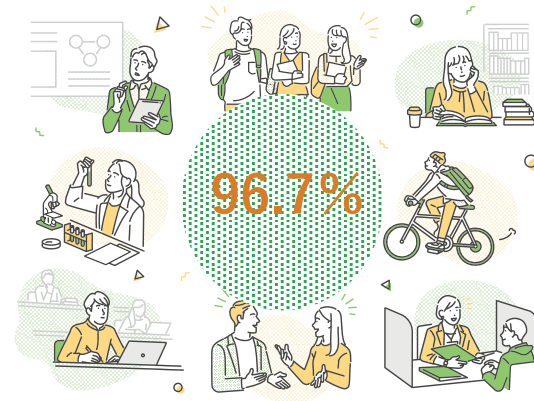
実技指導力 95.6%



自身の成長への満足度は …



鹿屋体育大学への入学満足度は …



NIFSpassは、学修のPDCAサイクル確立を手助けするためのツールです。GPA・PROG・SCCOTにおけるスコアを自ら分析し、自己の学修の改善策を検討して文章化することで、みなさんの大学での学びや成長をより確かなものにしましょう。Checkすることで次のActに向けての改善点や成功要因が見えてきます。そしてActでは、成功した点を標準化し、問題点を改善するための具体的な行動を取ることで、次のPDCAサイクルにつなげることができます。

① Webclassにログイン



② 『学習と振り返りの記録』から入力するカルテを選択

学習と振り返りの記録

[GPA](#)
[PROG](#)
[SCCOT](#)

③ 自身の成績分析を見ながらページ下部の3つの質問に対して回答
※「回答」をクリックしてから
④ 振り返りの入力が終わったら忘れずに「提出」をクリック

提出

キャンセル

〈発行〉

鹿屋体育大学 教育企画・評価室

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地 大学院棟1階

・TEL&FAX : 0994-46-5082

・E-MAIL : kyoumu-ap@nifs-k.ac.jp

〈企画・編集〉

淵田留美・鶴丸穂子・北村尚浩



- ◆ 新室長ご挨拶
- ◆ PROG・GPA分析結果
- ◆ 令和5年度卒業生満足度調査から
- ◆ NIFS passへの入力について

写真：北村ゼミ



スポーツ人文・応用社会科学系

きたむら たかひろ

北村 尚浩 教授

研究キーワード

- ・生涯スポーツ学
- ・スポーツ社会学
- ・レジャー・レクリエーション

【新室長からのメッセージ】

今年度から教育企画・評価室長を務めることになりました、スポーツ人文・応用社会科学系の北村尚浩です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、みなさんの大学での学びは、それぞれの履修科目の成績として評価され、さらに科目群ごとや本学で身につけるべき12の資質・能力ごとにGPAとして表されます。また、自身の成長を感じてもらえるように、教育企画・評価室では、PROG（汎用的能力）テストやSCCOT（Sports Coaching Competency Test）によって学生のみなさんの学習成果を測っています。このAP Newsでも、PROGやSCCOTの結果について逐次報告しています。今号では、新入生のPROGテスト結果や昨年度卒業生のGPAの変化などについて掲載しています。

これらの結果は、大学の教育活動の効果を評価する指標の一部として、教育の質を継続的に向上させるために教育プログラムの改善策立案に活用します。高い教育の質を維持するためには、定期的な評価と改善が不可欠であり、それによって学生のみなさんが満足できる教育環境を提供することで、学習意欲や成果の向上を目指します。そして、質の高い教育を提供することは、大学の社会的信頼性を高め、魅力ある大学づくりに寄与しています。

ところで、みなさんの学びをより良い学びにするためには、PDCAサイクルの確立が必須です。つまり、それぞれの指標で明らかになった現在の自己の姿から将来あるべき姿を目指して計画（Plan）を立て、それを実行（Do）し、その成果を確認（Check）して、振り返る（Act）ことで改善策を検討し、次のPlanにつなげてください。このAP Newsに記載しているNIFSpassは、PDCAサイクルのA（振り返り）を手助けするためのツールです。NIFSpassでは、それぞれの指標が可視化されており、それを見ながら自身の成長を振り返ることができ、次の計画を立案する手助けになります。

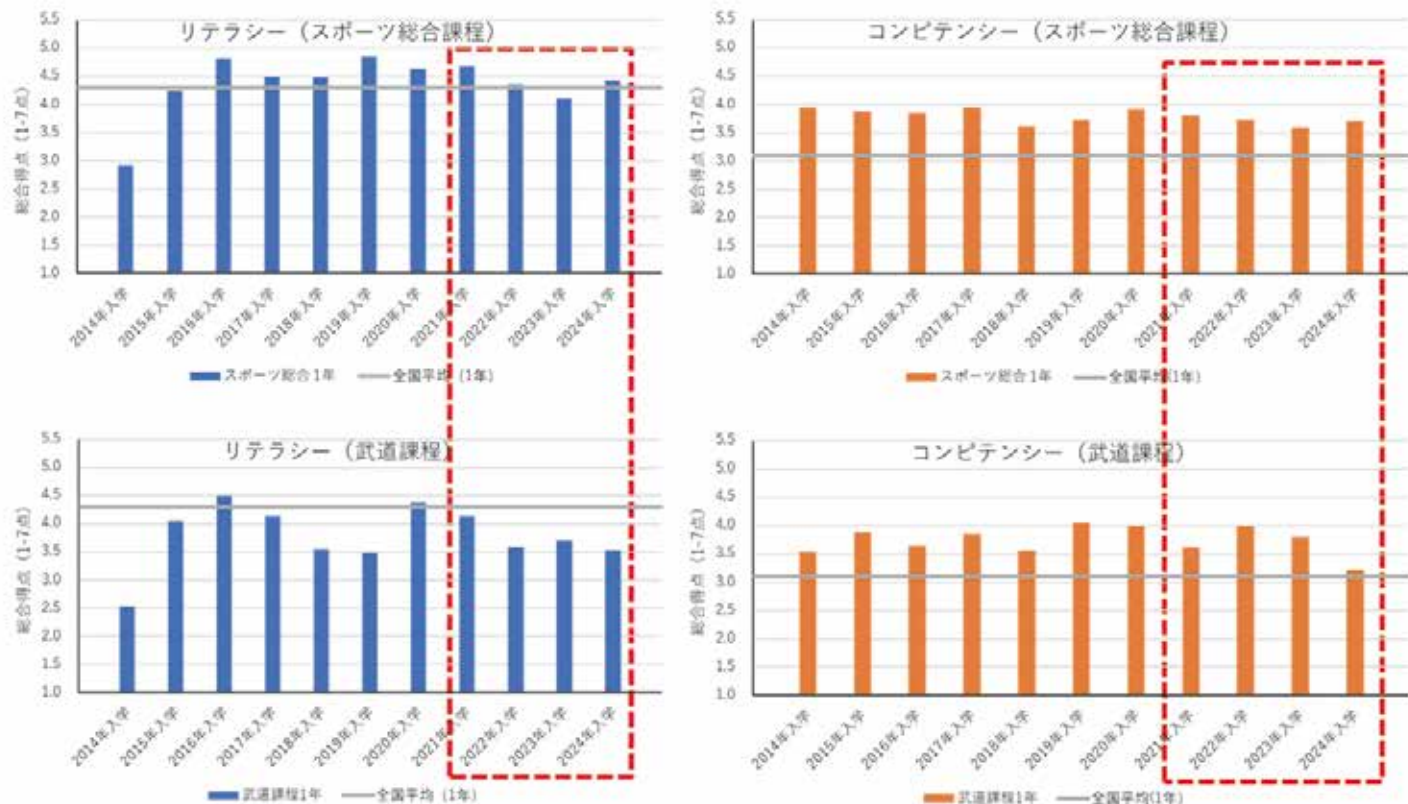
あなたは、自分が目指す姿が見えていますか？これからも、みなさんが主体的に学び、成長し続けることを期待しています。教育企画・評価室は、皆さんの学びを全力で支援しますので、何か質問や相談があれば、いつでも気軽に声をかけてください。一緒に、より良い学びの環境を作り上げていきましょう。

Topic 2 令和6年度入学生の社会人基礎力（PROGテスト結果）

【PROGとは】

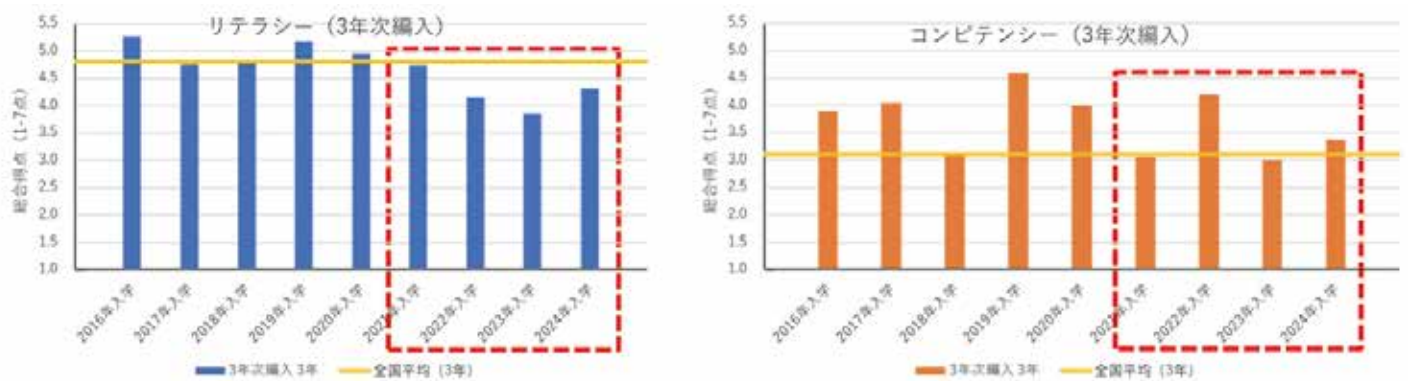
PROGは、社会で求められる汎用的な能力や態度、志向を測定するためのテストです。リテラシーは、新しい問題や未経験の問題に対して知識を活用して課題を解決する力を、コンピテンシーは、周囲の状況に適応し、効果的に行動するための意思決定の特性や行動スタイルを評価します。

新入学生



図は2021年度～今年度までの新入生のリテラシーとコンピテンシーの結果を、課程ごとに示しています。リテラシーについては、スポーツ総合課程では昨年度まで低下傾向にありましたが、今年度入学生は、1年生の全国平均を上回っています。一方、武道課程では全国平均よりも低く、この4年間で最も低い結果となりました。コンピテンシーについても同様の傾向が見られ、スポーツ総合課程では前年度に比べて上昇していますが、武道課程ではこの4年間で最も低くなっています。

3年次編入生



さらに3年次編入生では、リテラシーについては1年生同様に低下傾向にあったものが前年に比べて上昇しているものの、全国平均（3年）には及びません。コンピテンシーも前年に比べて上昇しており、全国平均（3年）を上回っています。

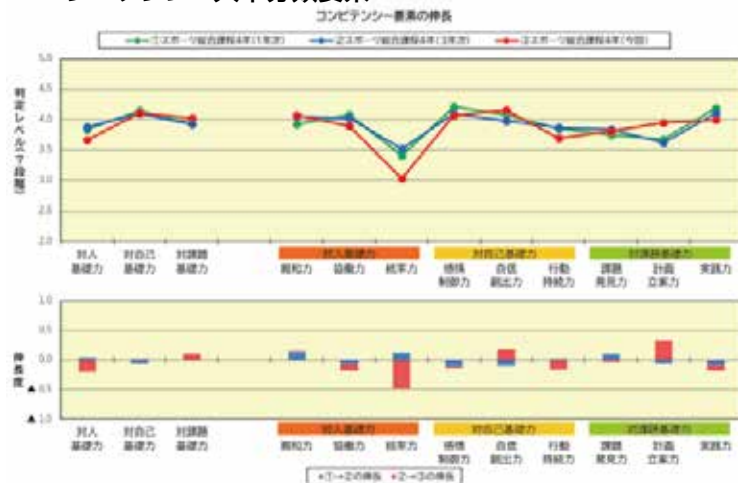
既にテスト結果は、個々の強みや弱みを視覚的に理解できるようにフィードバックされています。結果を振り返って自己理解を深め、本学での学修に活かしてください。

Topic 3 令和5年度卒業生のPROG・GPAの成長分析

PROGテスト結果

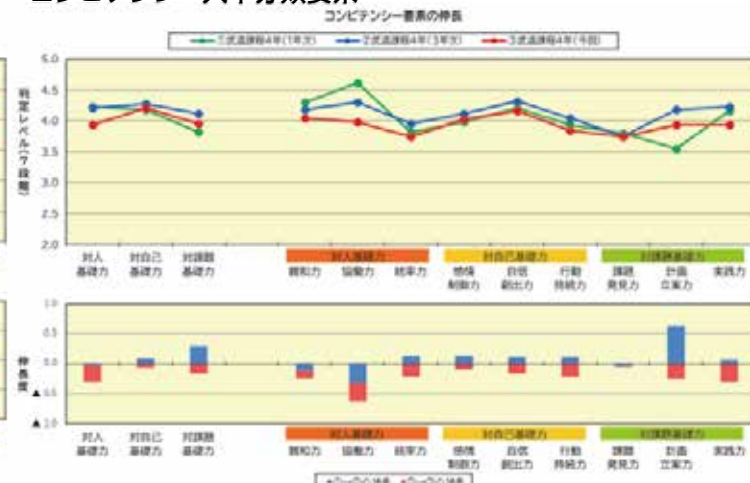
【スポーツ総合課程】

コンピテンシー大中分類要素



【武道課程】

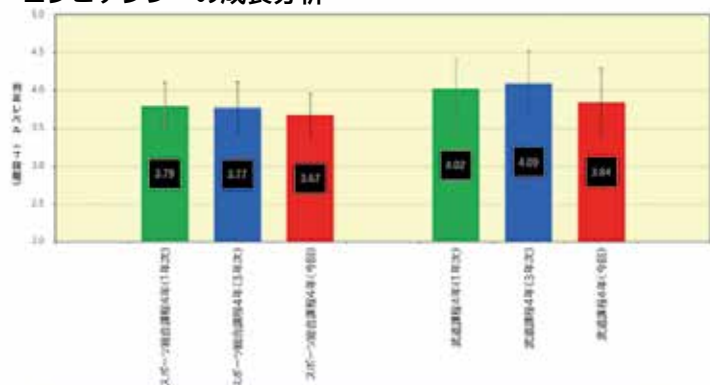
コンピテンシー大中分類要素



コンピテンシーの中分類要素では、スポーツ総合課程は「親和力」「自信創出力」「計画立案力」は延びており、「協働力」「統率力」「感情制御力」「行動持続力」「課題発見力」「実践力」は3年次の時に比べて低下しています。武道課程はすべての中分類要素で、3年次受験のスコアを下回る結果となりました。

【全体】

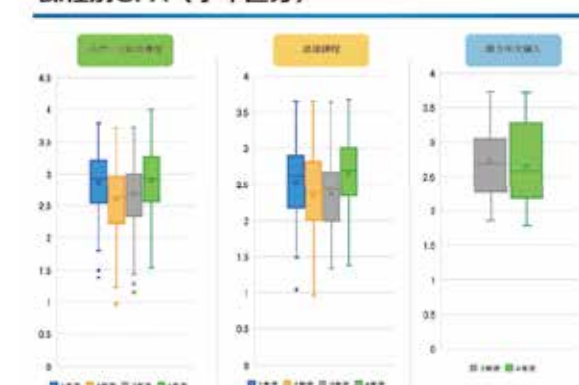
コンピテンシーの成長分析



令和5年度卒業生のPROGテスト（コンピテンシー）の成長分析です。全体を見ると、スポーツ総合課程では学年進行とともに低下傾向を示し、武道課程では3年時に上昇したのですが、4年次には1年生の時のスコアを下回りました。

GPA値

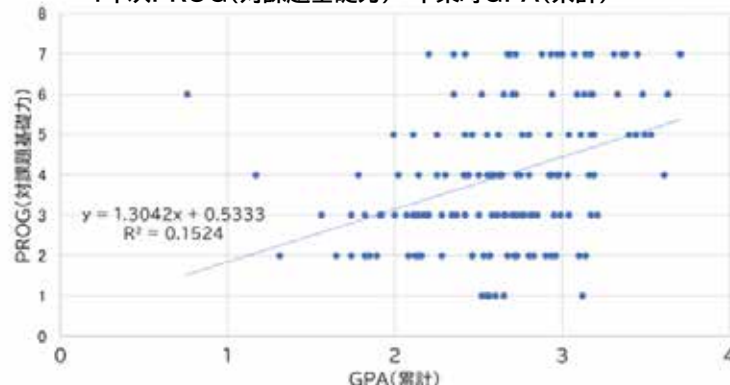
課程別GPA（学年区分）



図は、令和5年度卒業生の、学年ごとのGPAの変化を表しています。スポーツ総合課程、武道課程とも1年次から2年次にかけて低下しており、ばらつきも大きくなっています。その後、3年次、4年次と学年が進むにつれて、中央値と平均値は上昇するもののばらつきは縮まっておらず、学生の間で成績の不均一性は解消されていません。1年次と比べると、卒業時には成績の差が大きくなっていると言えます。3年次編入生では、4年次にかけて低下し、ばらつきもやや広がっています。

PROGとGPAの相関

4年次PROG(対課題基礎力)×卒業時GPA(累計)



GPAとコンピテンシーを構成する対課題基礎力には相関が見られました。これは、一般的に学業成績が良い学生は、問題解決能力や批判的思考力も高い傾向があることを示唆しています。GPAがPROGテストの結果に直接影響を与えているかどうかを判断するにはさらなる分析が必要です。